

地域住民が主役となり地域課題に取り組むための基盤をつくる

1 地域の実情に応じた取組

※（財源）今年度決算額【前年度決算額】

地区社協活動支援 <<重点事業>> （市社協補助金）（共同募金）5,349 千円【4,758 千円】

地区社協活動の推進を目的に、各地区社協からの相談に応じ情報提供や助成等の活動支援を行った。また、改訂された「地区社協のてびき」で示された、一人ひとりの困りごとを解決する仕組みづくりを進めるため、地区社協と連携し、「ちょこっとボランティア（住民同士の助け合い・支えあい活動）」や「サロン」の立ち上げ等を進めた。

(1) 区内 19 の地区社協の活動支援を目的として活動費の交付および福祉講座・研修会の開催支援と助成を行った。また、地域福祉保健計画地区別計画の推進のため、広報・研修・調査費用等の助成を新たに実施した。

①活動助成金：5,048,000 円(19 地区) (単位：円)

	地区名	市社協補助金	区社協助成		合計
			広報啓発事業※	世帯按分助成	
1	鶴ヶ峰	50,000	10,000	226,000	286,000
2	白根	50,000	10,000	193,000	253,000
3	旭北	50,000	10,000	194,000	254,000
4	上白根	50,000	10,000	168,000	228,000
5	今宿	50,000	50,000	194,000	294,000
6	川井	50,000		192,000	242,000
7	若葉台	50,000	70,000	200,000	320,000
8	笹野台	50,000	80,000	189,000	319,000
9	希望が丘中	50,000		185,000	235,000
10	希望が丘南	50,000	10,000	201,000	261,000
11	希望が丘東	50,000	10,000	182,000	242,000
12	さちが丘	50,000	10,000	191,000	251,000
13	万騎が原	50,000	50,000	181,000	281,000
14	二俣川	50,000	10,000	200,000	260,000
15	二俣川ニュータウン	50,000	70,000	190,000	310,000
16	旭中央	50,000	10,000	175,000	235,000
17	旭南部	50,000	10,000	188,000	248,000
18	左近山	50,000	10,000	193,000	253,000
19	市沢	50,000	50,000	176,000	276,000
	合計	950,000	480,000	4,098,000	5,048,000

区社協助成については、共同募金を財源として助成を行った。

※広報啓発事業（上限 100,000 円）

- ・ホームページの開設・運営：上限 30,000 円
- ・広報紙（地区社協だより等）の発行： 上限 70,000 円
- …年 1 回：10,000 円、年 4 回（全戸配布）：50,000 円、年 6 回（全戸配布）：70,000 円

②福祉講座・研修会助成：126,400円（6地区）

	地区名	金額(円)	日時	内容	参加者数
1	希望が丘東※	40,000	①6月16日 ②10月28日	生活支援ボランティア育成講座	①6人 ②12人
2	今宿	20,000	9月23日	福祉講演会 「お薬との上手なつきあい方」	80人
3	二俣川ニュータウン	16,400	10月21日	福祉講演会 「認知症サポート養成講座」～備えと気づきと見守り・支え合い～	45人
4	白根	20,000	11月17日	防災講座 「避難や避難生活で被害を拡大しないために」	43人
5	万騎が原	20,000	2月24日	笑って元気！落語	64人
6	川井	10,000	3月13日	腰痛でもあきらめない ～体の使い方・運動のポイント～	40人

共同募金（一般）を財源として助成を行った。

※具体的な担い手を発掘育成することを目的として連続で開催する講座助成（上限40,000円）

③地域福祉保健計画地区別計画取組助成：175,400円（5地区）

	地区名	金額(円)	内容	備考
1	白根	30,000	第3期地域福祉保健計画推進 広報誌「特別号」の発行	10月末日発行 部数：5,000部
2	川井	25,400	講演会「介護予防と健康づくり」の開催	2月26日開催 参加者：64人
3	若葉台	50,000	講演会「現代社会に見る地域見守り活動の現状と課題」・意見交換会の開催	3月3日開催 参加者：80人超
4	旭南部	35,000	第3期地域福祉保健計画紹介パンフレットの作成	2月発行 部数：5,000部
5	希望が丘東	35,000	生活支援ボランティア事業 (日常生活のチョットお手伝い)	アンケート7,000部 事業チラシ作成

共同募金（一般）を財源に助成を行った（上限50,000円）。

(2)職員を地区担当制とし、地区社協事業・活動ニーズ等の状況把握や地区で進められている新規事業の立ち上げ、支えあい活動(サロンや子ども食堂等)の支援を行った。また、ボランティアセンターや移動情報センター等、区社協に寄せられた相談を地域につなげ、解決を図った。また、各ケアプラザと連携した地域支援を展開するために情報交換会を開催した。

(3)「地区社協分科会（P40参照）」(これまで実施していた地区社協会長会、事務局長会を一本化)を定例開催し、各地区の取組状況、グループワーク等を通じて意見交換、情報交換を行った。また各地区の広報紙や行政からのお知らせ等をまとめ、「地区社協定期便」として月1回地区社協に情報提供を行った。

(4) 地区社会福祉協議会役員等を対象として地域福祉の推進を目的に役員向け研修会を開催した。

第1回	目的	地区社協の求められる役割や地域福祉保健計画について学ぶ。 ※新任役員研修として実施
	日程	5月24日(木) ※第1回地区社協分科会と同日開催
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	31人(14地区)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区社会福祉協議会について ・地区社会福祉協議会に求められる役割 ・旭区地域福祉保健計画「きらっとあさひプラン」について
	講師	区社協事務局長、区福祉保健課事業企画担当係長
第2回	目的	地区社協の会計に関する説明を行い、予算や決算等を住民に正しく伝えられるようにする。 ※会計担当者研修として実施
	日程	2月22日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	25人(15地区)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の気持ちを形に！地区社協のお金の使い方 ・地区社協状況書作成について
説明者	区社協担当職員	
第3回	目的	困りごとに寄り添い、ネットワークを活かして解決していくという役割について、他都市の先進事例から学び今後の活動の一助とする。
	日程	3月12日(火)
	場所	逗子市地域活動センター久木会館
	人数	36人(18地区)
	内容	地域安心サポート事業および地域での取組について
講師	逗子市社会福祉協議会 地域福祉推進係 係長 三冨 淳氏 山の根自治会 会長 龍村 敦子氏	



(5) 横浜市社協と18区社協との共催として、「第4回 よこはま地域福祉フォーラム～「おたがいさま」の縁づくり～縁で彩る支えあい」を開催した。

日程	12月6日(木)
場所	関内ホール、横浜市健康福祉総合センター、はまぎんホールヴィアマーレ
人数	全体：1,692人(全体会：898人、分科会(分科会1～4)：794人) 【旭区】民児協：28人、地区社協：23人

内 容	【基調講演】 テーマ：「地域でつながる、暮らしがつながる ～このまちで自分らしくいきるために～」 講師：つながるクリニック 院長 八森 淳氏 【分科会 1～4】 ※分科会 3 にて、市沢地区民児協・左近山地域ケアプラザ・区社協より発表。
-----	---

生活支援体制整備事業

《重点事業》

(市社協委託料) 200 千円【200 千円】

高齢者の一人ひとりができることを大切にしながら暮らし続けるために、多様な主体が連携・協力する地域作りを目指して開始された生活支援体制整備事業は、3年目を迎え、区域全体での動きを充実させるとともに、各地域で2層生活支援コーディネーターが着実に事業を進められるよう、視察研修や勉強会などの支援を行った。

今後も「交流・居場所」、「生活支援」、「見守り・つながり」の3つの取組が、地域の中で満たされている状態を目指して、2層生活支援コーディネーターと一体となって進めている。

(1) 1層(区域)生活支援コーディネーターとしての取組

①区域での啓発

生活支援体制整備事業との連携を図るため、専門職や住民向けの研修会を行い、啓発を進めた。

- ・介護予防ケアマネジメント研修（区役所・地域包括支援センター連絡会と共催）
 ケアマネジャー向けの研修会の中で、生活支援体制整備事業の説明と事例検討会を行った。
- ・横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（サービスB）研修会
 区内包括支援センター連絡会との共催で実施した。本事業や生活支援体制整備事業の目指すところを確認した。
- ・地域福祉保健計画推進研修会
 地域福祉保健計画推進のための研修会に、事例として生活支援体制整備事業の取組を取り上げ、啓発を図った。

(2) 2層生活支援コーディネーターと協働した取組

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域のボランティアグループや各地域ケアプラザ生活支援コーディネーター等の関係団体と連携し、団体同士のネットワーク構築や情報交換を目的に、3つの連絡会（①食事サービス連絡会、②サロン連絡会、③ちょこっとボランティア連絡会）を開催した。

【食事サービス連絡会】

日 程	① 6月19日(火) ② 1月24日(木)
場 所	①② 旭区福祉保健活動拠点
人 数	① 38人(23団体) ② 68人(21団体 34人・19地区社協 34人)
内 容	①－1 生活支援体制整備事業について

	<ul style="list-style-type: none"> － 2 食中毒予防について（区役所生活衛生課） － 3 グループ間交換留学について － 4 夏に向けたメニューについて ②－ 1 冬季の食中毒について（区役所生活衛生課） － 2 グループ間交換留学報告 － 3 情報交換会 <p style="text-align: center;">「地区全体で高齢者を支えるためには ～地区社協との連携を考える～」</p>
--	---

【サロン連絡会 フェスティバル】

日 程	11月9日(金)
場 所	二俣川地域ケアプラザ
人 数	81人(施設関係者24人、サロン関係者51人、その他(行政等)6人)
内 容	<p>演芸ボランティアとサロン活動団体、福祉施設のマッチング会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

【ちょこっとボランティア連絡会】

日 程	①7月30日(月) ②3月25日(月)
場 所	①②旭区福祉保健活動拠点
人 数	①54人(13団体) ②38人(24団体)
内 容	<p>①－ 1 昨年度の連絡会について</p> <ul style="list-style-type: none"> － 2 活動を安全に行って頂くための講座 <li style="padding-left: 20px;">「熱中症予防について」(大塚製薬(株)) <li style="padding-left: 20px;">「害虫対策について」(区役所生活衛生課) － 3 情報交換 <p>②－ 1 「地域における“ちょこっとボランティア”」について</p> <p style="padding-left: 20px;">発表：旭区市沢地区「キャッツ ハンズ クラブ(CHC)」</p> <ul style="list-style-type: none"> － 2 情報交換のテーマ － 3 情報交換会

(3) 認知症高齢者支援事業(認知症SOSネットワーク)について、協力団体として行方不明者の検索、情報提供を行った。

(4) 旭区食品スーパー・ドラッグストア配達サービス一覧の作成
主に高齢者ができる限りご自身で買い物に出かけていただけるよう、旭区内の食品スーパー・ドラッグストアで実施している配達サービスをまとめた冊子を発行した。



冊子表紙



神奈川新聞にも掲載

(5) 2層(地域ケアプラザエリア)生活支援コーディネーターへの支援

①生活支援コーディネーター同士の情報交換の場づくり

【生活支援コーディネーター連絡会】(原則毎月第3木曜日)

日 程	① 4月 19日(木) ② 5月 17日(木) ③ 6月 21日(木) ④ 7月 19日(木) ⑤ 9月 20日(木) ⑥ 10月 18日(木) ⑦ 11月 15日(木) ⑧ 12月 20日(木) ⑨ 1月 17日(木) ⑩ 2月 21日(木) ⑪ 3月 20日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	各地域ケアプラザの2層生活支援コーディネーター(13地域ケアプラザ)
内 容	(1)区役所からの情報提供 (2)区社協からの情報提供 (3)生活支援コーディネーターが進めている各連絡会からの取組報告 (4)テーマを決めた情報交換等 (各自の報告の際にはプレゼンテーションの練習も兼ねる)

②研修の機会づくり

【研修会の開催】

生活支援体制整備事業の理解を進め、コーディネーターとして必要なスキルを学ぶための研修会を開催した。また、一人一人の困りごとの向かい方や制度やサービスではなく地域できることについて考える機会をつくった。さらに、他区の事例を視察し、優れている点や取組のポイントについても学ぶ機会をつくった。

回	日 程	内 容
1	4月 15日(日)	視察研修会 神奈川区羽沢PJ「あおぞら昼食会」
2	5月 17日(木)	勉強会「生活支援体制整備事業を理論的に理解する」
3	8月 8日(水)	視察研修会 川崎市宮前区 ボランティアグループ すずの会 ミニデイサービス
4	8月 9日(木)	新任生活支援CO勉強会(上白根CP)
5	8月 21日(火)	旭区介護予防支援・介護予防ケアマネジメント研修
6	10月 24日(水)	新任生活支援CO勉強会(笹野台CP)
7	12月 18日(火)	勉強会(初級編:平成30年4月以降の着任者向け) 「生活支援コーディネーターとしての明日の1歩 ～取組課題の捉え方と進め方～」

8	2月7日(木)	勉強会(上級編:平成30年4月以前の着任者向け) 「住民主体の課題解決に向けて ～短・中・長期のビジョンの描き方～」
9	3月6日(水)	プレゼンテーション研修会(地域活動交流CO合同)
10	3月18日(月)	旭区地域包括支援センター連絡会 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業勉強会

※その他、地区社協分科会に参加し、地区社協の皆さんとグループワークの進行と意見交換を行った。また、新あさひみらい塾にも参加し、参加した地域の皆さんとともに、講演を聞いたり、他区、他都市の事例の視察見学なども行った。(P33参照)

(6)その他

①個別相談等

随時、各生活支援コーディネーターから相談を受け、進捗状況の確認、事業の進め方の相談、情報提供を行った。

②活動の基盤整備

地域活動・サービスリスト「ayamu」の入力を行い、活用できるように整備した。

(7)第29回区民まつり

共同募金、地域共生社会のPR、また生活支援体制整備事業における意識調査や情報啓発を目的として、区社協ブースを設けた。

日程	10月15日(日)	
場所	旭区役所駐車場スペース	
協力	旭区地域ケアプラザ生活支援コーディネーター	
内容	(1)共同募金PR (2)生活支援体制整備事業のPR 「お近くのサロン調査」「あなたの困りごと調査」 「ちょこっとボランティアグループの活動紹介」	

各種助成事業

《重点・新規事業》

(市社協補助金)(共同募金)(善意銀行)12,450千円【9,673千円】

区内の地域福祉関係団体(ボランティア・当事者団体等)や地区での福祉に関する取組に対し、助成金を通じて支援した。また、助成金制度の円滑な運営と適正な執行のために、申込団体の審査や制度の検討を、あさひふれあい助成金委員会にて行った。

(1)あさひふれあい助成金

平成30年度より横浜市内全区の助成条件を統一したもので実施した。市社協補助金・共同募金配分金・年末たすけあい配分金・善意銀行配分金を原資として、区内の地域福祉関係団体の事業に対して助成した。

【あさひふれあい助成金 配分結果】

区分		助成件数	助成金額（円）
要援護者支援	集いの場	65	5,644,000
	家事・生活支援活動	6	610,000
	配食	5	880,000
	送迎	3	900,000
障害当事者支援	障害当事者活動	16	1,024,000
	宿泊日帰り	5	250,000
	視聴覚障害者支援	3	150,000
福祉のまちづくり		24	905,000
健康増進		1	10,000
新規立ち上げ	要援護者支援、集いの場	3	120,000
合計		131	10,493,000

(2) 旭区社協独自助成

あさひふれあい助成金の制度変更に伴い、活動の継続と充実、新たな地域活動を支援していくため、旭区社協独自助成金（①ふれあい助成金激変緩和措置、②ボランティア備品購入、③周年事業・記念誌発行等助成金、④地域の見守り支えあい活動助成金）について、あさひふれあい助成金委員会で申込団体の審査や制度の検討を行い、助成金を通じて支援を行った。

	名称	件数	金額（円）	財源	助成内容
1	ふれあい助成金 激変緩和措置	16	310,000	善意銀行	区社協会員が対象。ふれあい助成金の制度変更に伴い、同じ事業で助成額が減額となる団体に事業費を助成する。 （上限額2万円）
2	ボランティア備品購入	6	409,000	善意銀行	区社協第6種会員を対象に、活動で使用する備品を購入するための費用を助成。 （上限額10万円）
3	周年事業・記念誌発行 等助成金	0	0	善意銀行	区社協会員が対象。団体・施設の周年事業や記念誌発行等経費を助成。（5万円未満、5万円以上）
4	地域の見守り支えあい 助成金	8	338,600	善意銀行 共同募金	地域での訪問活動や子ども・地域食堂、居場所づくり等、気になる子ども、高齢者、世帯等に対し、見守り活動を実施する事業に対し助成する。 （上限額5万円）

(3) 旭区地域活動団体等助成

区域を対象とした団体活動に対し、助成を行った。(4団体、総額90万円)

※各区分、団体名、事業名、助成額の詳細については、P47～P53参照。

【あさひふれあい助成金委員会】

第1回	日程	5月31日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	6人
	内容	(1)平成29年度 助成結果 (2)平成30年度 申請団体について (3)平成30年度 旭区地域福祉活動団体助成の審査について (4)平成30年度 旭区社協独自助成の審査について
	結果	(1)～(4)承認された。
第2回	日程	12月4日(火)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	5人
	内容	(1)平成30年度 旭区社協独自助成の申請について (2)平成30年度 あさひふれあい助成金新規立ち上げ申請・減額・辞退について (3)地域福祉活動団体等助成金について (4)旭区社会福祉協議会 助成金制度について
	結果	(1)～(4)承認された。
第3回	日程	3月5日(火)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	6人
	内容	(1)平成30年度 旭区社協独自助成の申請について (2)平成30年度 あさひふれあい助成金について (3)平成31年度 あさひふれあい助成金について
	結果	(1)～(3)承認された。

(4) 助成金に関する情報収集・情報提供

他団体の助成事業や民間の助成金等の情報収集し、ホームページ等を活用し情報提供を行った。

○平成31年度あさひふれあい助成金説明会

3月14日(木)、15日(金)、19日(火)実施。(3日間とも同内容)

2 地域・関係機関・行政のネットワーク強化

地域ケアプラザとの連携

地域支援を進めるにあたり、密接な連携先である地域ケアプラザと、事業等実施にあたり様々な場面で打ちあわせ等を行い、連携を図った。

(1) ケアプラザ所長会への参加

日 程	①4月18日(水) ②6月20日(水) ③8月15日(水) ④10月17日(水) ⑤12月19日(水) ⑥2月20日(水)
場 所	区役所外部会議室
人 数	旭区地域ケアプラザ所長 (13 地域ケアプラザ)
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)各テーマでの意見交換 等

(2) 地域活動交流コーディネーター連絡会

連絡会の事務局が区社協となったことから、積極的に連携を図った。また、今後の連絡会のあり方を検討する会を設け、話し合いを進めた。

日 程	①4月26日(木) ②6月28日(木) ③8月23日(木) ④10月25日(木) ⑤12月20日(木) ⑥2月28日(木)
場 所	鶴ヶ峰地域ケアプラザ (8月23日のみ二俣川地域ケアプラザ)
人 数	各地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター (13 地域ケアプラザ)
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)各部会報告 等

※地域活動交流コーディネーター連絡会 あり方検討会

日 程	①8月6日(月) ②11月13日(火) ③1月8日(火) ④3月25日(月)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター (5 地域ケアプラザ) 区役所1人、区社協1人

(3) 旭区地域包括支援センター連絡会への参加

日 程	①5月18日(金) ②9月20日(木) ③11月15日(木) ④3月18日(月)
場 所	区内地域ケアプラザ(持ち回り)
人 数	各地域ケアプラザ地域包括支援センター
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)三職種分科会、地域包括研修会報告、 (3)各種研修(障害支援機関・生活支援コーディネーターとの連携、包括研修)

(4) 旭区地域包括支援センター 社会福祉士分科会への参加

日 程	①5月11日(金) ②7月13日(金) ③9月14日(金) ④11月9日(金) ⑤3月8日(金)
場 所	鶴ヶ峰地域ケアプラザ 二俣川地域ケアプラザ
人 数	各地域ケアプラザ地域包括支援センター社会福祉士
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)各委員会からの報告等

(5) 地域ケアプラザ運営協議会への参加

○鶴ヶ峰地域ケアプラザ：2回

- 今宿西地域ケアプラザ：2回
- 白根地域ケアプラザ：2回
- 上白根地域ケアプラザ：2回
- 笹野台地域ケアプラザ：2回
- 川井地域ケアプラザ：2回
- ひかりが丘地域ケアプラザ：1回
- 左近山地域ケアプラザ：1回
- 二俣川地域ケアプラザ：1回

(6) 地域ケア会議等の参加

区域や各ケアプラザが開催する関係会議(地域ケア会議や巡回相談等)への参加を行い、地域ケアプラザや区役所と連携し、個別相談の解決に向けて、地区の関係者との共有を図った。

- ①各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議への参加：11回
- ②上白根地域ケアプラザ地域支援ケア会議への参加：3回
- ③今宿西地域ケアプラザ・区役所との巡回相談への参加：10回
- ④二俣川地域ケアプラザ・区役所との巡回相談への参加：6回

(7) 地域ケアプラザ・区社協職員研修

①地域ケアプラザ業務連携指針説明会

日 程	5月23日(水)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	29人(各地域ケアプラザより所長、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが参加)
内 容	(1) 業務連携指針説明 横浜市健康福祉局地域福祉保健部地域支援課担当係長 山口真氏 (2) 旭区における進め方について 旭区福祉保健課長 松本 貴行氏 旭区社会福祉協議会 事務局長 若尾 恵子

②福祉教育座談会

福祉教育をどのように進めていくかを学ぶ機会として、また、気軽に福祉教育を進めるうえでの悩みを共有できる場として実施した。

日 程	2月27日(水)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	13人(地域活動交流コーディネーター10人、区役所1人、区社協2人)
内 容	講師：平野 友康氏(横浜創英大学 こども教育学部 講師) (1) 新聞記事を読んでどの問題に関心があるか優先順位をつける (2) 福祉教育で求められていること『福祉教育(啓発)事業方針』から考える (3) 資料をもとに話し合い

③プレゼンテーション研修会

人前で話をする機会の多いケアプラザ職員や区役所、区社協職員のスキルを高めるため、プレゼンテーション研修を行った。

日 程	2月27日(水)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	24人(地域活動交流コーディネーター8人、生活支援コーディネーター7人、区役所6人、区社協2人)
内 容	講師：大島 武氏(東京工芸大学 芸術学部 教授) (1) 研修目的と進め方 (2) 基調講義 (3) プレゼンテーションの実施 (4) イメージ交換ゲーム

3 福祉保健の啓発の推進 <重点・新規事業>

「すべての区民が地域で支えあい、健康でしあわせな生活を送れるまち、旭区をつくろう」を基本理念とした第3期旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)を、関係機関と連携し推進するとともに、地区別計画の推進を支援した。

(1) 第3期旭区地域福祉保健計画(平成28年度～令和2年度)の事務局を区役所・地域ケアプラザと共同で担い、計画の進行管理を行った。

【地域福祉保健計画事務局会議】12回

- ①4月20日(金) ②5月11日(金) ③6月8日(金) ④7月13日(金)
⑤8月10日(金) ⑥9月7日(金) ⑦10月12日(金) ⑧11月9日(金)
⑨12月17日(月) ⑩1月11日(金) ⑪2月8日(金) ⑫3月8日(金)

【地域福祉保健計画推進会議】

目 的	地域福祉保健計画策定・推進・評価および地域福祉保健施策の総合的な推進等
日 程	6月20日(水)
場 所	旭区役所新館 大会議室
人 数	15人(福祉・保健・医療関係団体代表者)
内 容	(1) 旭区内地域包括支援センターの運営について (2) 第3期旭区地域福祉保健計画の進捗状況について (3) 福祉保健センターでの本年度事業について

(2) 19地区連合町内会エリアごとに策定した地区別計画の推進支援ならびに第3期旭区地域福祉保健計画の推進について、「地区別支援チーム」の一員として、区役所・地域ケアプラザとともに進めた。

【地区別支援チーム 新任研修】

目 的	支援チームの新任者を対象として、地域福祉保健計画の概要および関係機関の役割等を理解することを目的として開催。
日 程	①5月24日(木) ②5月25日(金) ※①②とも同内容

場 所	旭区役所 3階カンファレンスルーム
人 数	30人（区役所・区社協・CP職員）
内 容	(1)地域福祉保健計画とは (2)旭区地域福祉保健計画推進の取組について (3)社協、地域ケアプラザとは

【地区別支援チーム 全員研修】

目 的	支援チームメンバーが地域支援の日常業務の関連性を認識し、相互の役割を理解することを目的として開催。
日 程	①6月26日(火) ②6月27日(水) ③6月29日(金) ※①～③とも同内容
場 所	①～③ 旭区役所新館 大会議室
人 数	97人（区役所・区社協・CP職員）
内 容	(1)地域包括ケアシステムの構築に向けた旭区行動指針 (2)きらっとあさひプランの取組状況について (3)講義・演習「～それぞれの特性を生かしたチームアプローチ～」

【地区別支援チームリーダー連絡会】

目 的	支援チームリーダーへ各地区の取組の振り返りの説明したおよび情報提供等を目的として開催。
日 程	第1回:①5月24日(木) ②5月25日(金) 第2回:①11月26日(月) ②11月30日(金)
場 所	旭区役所 第2診察室他
人 数	第1回 23人、第2回 38人（区役所職員）
内 容	第1回 (1)支援チームリーダー業務の確認（チーム運営等） (2)情報交換、意見交換（リーダーとしての動きについて） 第2回 (1)平成30年度の地区別計画振り返りの支援について (2)連絡・情報提供 ・きらっとあさひ福祉大会、第4期区計画策定について ・地域交通の動き、移動販売の公園での施行実施について ・事例紹介 (3)グループディスカッション、発表

(3) 旭区地域福祉保健計画推進研修（旭区社協会員向け研修）の開催

地域共生社会の実現に向けて、今後求められる地域づくりの視点や活動を進めるにあたってのヒント、地域と支援機関との連携等について講演会、パネルディスカッションを開催した。

日 程	7月9日(月)
場 所	旭公会堂 ホール
講 師	原田 正樹氏（日本福祉大学 教授）

人 数	278 人（区社協会員（地域住民）：242 人、他区社協・C P・区役所：21 人、他区住民 15 人）
内 容	<p>1. 開会挨拶 旭区福祉保健センター長 岡ノ谷 雅之氏</p> <p>2. 講演会：「地域共生社会の実現にむけて ～地域と支援機関が一体となって取り組む地域づくり～」</p> <p>3. パネルディスカッション 区内の実践事例の発表と講師からのアドバイス</p> <p>①白根地区「嵐庵」（今川焼き屋）での取組について</p> <p>②市沢地区「キャッツハンズクラブ（CHC）」の取組について</p> <p>③旭区食品スーパー・ドラッグストア配達サービス一覧について</p>
	   <p>▲ 講演の様子</p> <p>▲ パネルディスカッション</p>

（４）きらっとあさひ地区連絡会

目 的	第 3 期地域福祉保健計画地区別計画の推進状況の情報共有を目的として開催。
日 程	9 月 11 日（火）
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	32 人（19 地区計画推進組織代表者等）
内 容	<p>（１）報告（第 3 期地区別計画推進における中間振り返り及び平成 30 年度の取組予定について、地域福祉保健計画推進研修について）</p> <p>（２）グループディスカッション テーマ「地域共生社会を実現するために～支えあい・助け合いを広げるまちづくり～」</p> <p>（３）第 7 回きらっとあさひ福祉大会について</p> <p>（４）広報あさひ区版への記事掲載について</p> <p>（５）きらっとあさひ地域支援補助金交付団体、区社協助成金について</p> <p>（６）地域福祉保健計画推進研修（第 2 弾）について</p>

（５）旭区地域福祉保健計画推進研修【第 2 弾】の開催

全国的に広がっている子ども食堂、学習支援をはじめとした子どもの居場所づくりについて、子ども達を取り巻く現状や課題を考え、地域の中で子どもが育つ場について、講演会を開催した。

日 程	11 月 5 日（月）
場 所	旭区民文化センター サンハート ホール
講 師	栗林 知絵子氏（N P O 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長）

人 数	174 人 (旭区民生委員・児童委員、地区社協：114 人、関係機関：34 人、一般：26 人)
内 容	<p>1. 開会挨拶 旭区福祉保健センター長 岡ノ谷 雅之氏</p> <p>2. 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもの居場所に関するアンケート調査報告 ・相談窓口、講師出版物等紹介 <p>3. 講演 「地域を変える、子どもが変わる、未来を変える」 ～子どもの居場所づくり活動から見えてくるもの～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>▲ 講演の様子</p>

(6) 第8回きらっとあさひ福祉大会の開催

地域福祉保健計画の周知および推進を目的として、地域で取り組まれている福祉保健活動を知っていただくとともに、地域の方々の福祉保健への関心を高めるために開催した。

日 程	<p>2月16日(土)</p> <p>【第1部】オープニングアクト、主催者挨拶、表彰式典</p> <p>【第2部】基調講演、事例報告</p> <p>活動紹介コーナー・障害者作業所等出店</p>
場 所	旭公会堂
人 数	411人(受賞者25人、一般来場者270人、協力員24人、出展団体69人、関係者23人)
主 催	旭区社会福祉協議会、旭区連合自治会町内会連絡協議会、旭区役所
内 容	<p>【第1部】</p> <p>1. オープニングアクト(第二空とぶくじら社による太鼓演奏)</p> <p>2. 表彰式典</p> <p>《地域福祉功労(22件)》敬称略</p> <p>岩崎 恵美子、服部 雅子、坂 榮子、野口 トキ、綿貫 良光、 伊藤 福美子、池上 登喜男、小山 フミ、正成 功、村松 武男、 海津 眞理子、迫 正子、高橋 利枝子、鈴野 芳子、川口 さちみ、 濱田 嘉子、嶺村 亜紀子、野々山 佳代子、小峯 忠雄、中田 倍子、 ボランティア配食グループ 虹、佐藤 廣明</p> <p>《寄付金品功労(4件)》敬称略</p> <p>佐藤 公則、医療法人社団 恵生会 上白根病院、旭ジャズまつり実行委員会、 神奈川県理容生活衛生同業連合旭支部 支部長 竹内 渉</p> <p>《特別功労(4件)》敬称略</p>

池田 貞夫、田口 武、村上 由紀子、横山 武

2. 基調講演・事例報告

テーマ『地域共生社会の実現と地域の見守り』

基調講演【講師】和田 敏明氏（ルーテル学院大学 名誉教授）

事例報告 ～若葉台地区で挑む“つながり”づくり～

【発表者】

熊谷 善友氏（若葉台地区社協会長）

峰松 雅子氏（若葉台地区社協副会長）

太田 正廣氏（若葉台地区社協副会長）

徳本 弓子氏（若葉台地域ケアプラザ生活支援コーディネーター）

山田 慎一氏（旭区役所生活支援課生活支援担当係長、地区支援チームリーダー）

3. 活動紹介コーナー

第3期地域福祉保健計画地区別計画のパネル展示(19地区)

障害地域作業所製品の販売、喫茶コーナー



▲ オープニングアクト



▲ 表彰式典



▲ 基調講演



▲ 事例報告

福祉理解の増進と情報の収集・提供

（共同募金）3,549千円【2,619千円】

広く区民に向けて、福祉への理解を深め関心を高められるよう、積極的な広報啓発を行った。

(1) 「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の作成・発行

【あさひいきいき宣言】

年3回 93,000部 全世帯配布

第98号（7月発行）特集：とても身近な集いの場

第99号（11月発行）特集：色々な立場の方々が連携し、取り組まれている活動

第100号（3月発行）特集：障害のあるなしに関わらず、誰もが自分の役割を見つけ、
支え合って生きていく



【広報委員会の開催】

第1回	日程	4月16日(月)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	8人
	内容	98号の特集内容について
第2回	日程	6月14日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	9人
	内容	98号の原稿内容、99号の特集内容について
第3回	日程	7月20日(金)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	9人
	内容	99号の原稿内容について
第4回	日程	9月7日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	7人
	内容	99号の原稿内容について
第5回	日程	10月15日(金)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	7人
	内容	100号の特集内容について
第6回	日程	1月11日(金)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	7人
	内容	100号の原稿内容について

(2) ホームページの運営、更新

ホームページの管理運営を行い、定期的に更新、最新情報を発信した。またより活用しやすい情報提供に向けてリニューアルを行った。



【ホームページ更新回数およびアクセス数】

更新回数：17回

アクセス数：24,639件

(3) バリアフリーカレンダーの作成・配布

地域で障害者・高齢者への理解を深める啓発のため、区内小学校・若葉台特別支援学校に絵画を募集し、心のバリアフリーカレンダーを作成し配布した。

参加学校数：15校

参加人数：79人



(4) ロゴマークの作成

第3期地域福祉保健計画を推進していく上で、「地域共生社会の実現」をテーマとして掲げ、広く関係団体や区民により効果的に啓発するためにロゴマークを作成した。



旭区福祉保健活動拠点の運営 (市受託金収入) (負担金収入) 14,450千円【15,183千円】

地域福祉・ボランティア活動の推進拠点である「旭区福祉保健活動拠点」の適正な管理運営を行った。地域の方々がいきいきと活動でき、つながりの持てる拠点として、更なる満足度の向上を目指した。

(1) 平成28年度から5年間の指定管理を受け、3年目の運営を行った。

(2) 施設の適正な運営のため、拠点運営委員会を開催した。

第1回	日程	7月19日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	8人
	内容	(1) 副委員長の選出について (2) 平成30年度ボランティアセンターの取組について 報告事項 (3) 福祉保健活動拠点、ボランティアセンター事業報告・事業計画 (4) 善意銀行預託金品の寄託配分状況報告
	結果	(1)(2) 承認された。(3)(4) 説明した。

第 2 回	日 程	3月7日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	8人
	内 容	(1) 平成31年度福祉保健活動拠点事業計画(案)について (2) 善意銀行預託金品の配分について 報告事項 (3) 窓口満足度調査について (4) 第三者評価の受審結果について (5) 平成30年度旭区福祉保健活動拠点 物品購入・買い替え状況について
	結 果	(1)(2) 承認された。(3)(4) 説明した。

(3) ボランティアからの相談受付等を行い、福祉保健活動拠点を活用したボランティアの発掘および活動育成を行った。

(4) 貸室業務を通して利用団体の活動内容、活動上の課題などを把握し支援した。

【登録団体数】 129 団体

【利用状況】

平日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	379	327	198	71.7	68.4	66.0
多目的研修室	156	150	155	63.5	61.1	63.5
点字製作室	164	105	22	66.4	42.6	9.0
録音室	46	48	14	18.9	19.3	5.7
対面朗読室	148	137	169	60.7	53.3	68.9

土	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	34	22	3	66.7	43.8	6.3
多目的研修室	27	28	47	56.3	58.3	97.9
点字製作室	7	5	0	14.6	10.4	0
録音室	7	5	0	14.6	10.4	0
対面朗読室	10	10	0	20.8	20.8	0

日 祝	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	30	23		41.8	34.3	
多目的研修室	18	18		26.9	26.9	
点字製作室	17	3		25.4	4.5	
録音室	6	13		9.0	19.4	
対面朗読室	14	18		20.9	26.9	

(5) 窓口度満足調査や利用団体懇談会を通し、拠点利用者へのサービス向上に努めた。

【窓口度満足調査】

実施期間	11月1日(木)～11月30日(金)
回答者	171人
意見	①対面朗読室に使用していない備品があり、狭くなっている。 ②部屋にゴミブリが出たので、改善してほしい。 ③Wi-Fi環境がほしい。 ④対面朗読室で活動中、隣の団体交流室Ⅱで活動している団体が大きな声で話している事が気になる。 ⑤窓口対応がとても素晴らしい。
改善宣言	①対面朗読室の備品について確認し、使いやすいよう改善する。 ②害虫駆除業者に再度入念なチェックを依頼する。 ③Wi-Fi環境の整備について検討する。 ④大きな声を出してまわりに迷惑をかけないように貼り紙等により、周知する。

【利用団体懇談会】

日 程	3月20日(火)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	29団体29人
内 容	(1) 窓口満足度調査の報告について (2) 2019年度旭区福祉保健活動拠点の利用について (3) その他(報告)
結 果	(1)～(3)報告した。

(6) 第三者評価を実施した。

日 程	11月15日(木)
委託業者	株式会社フィールズ
結 果	問題なく良好であった。

<推進の柱2：安心して自分らしい生活ができる地域づくり>

支援を必要とする人が的確に支援へつながる仕組みをつくる

1 見守り体制の充実、孤立予防

深刻かつ見えにくい課題を抱える人たちを身近な地域内で発見し、地域課題としてとらえ、その解決に取り組む仕組みづくりを進めた。

移動情報センターあさひの運営

移動情報センター運営（市受託金収入） 7,552 千円【7,552 千円】

ガイドボランティア事業（市補助金収入） 3,182 千円【2,735 千円】

(1) 障害児・者にとって生活上大きな課題となり得る「移動」について、情報を一元的に収集・発信するとともに、当事者やその家族に対する相談・支援を行った。

【相談件数】 235 件

《内訳》

障害種別	件数	相談内容	件数
身体障害	62	通院	63
知的障害	75	余暇	30
精神障害	8	通学・通所	105
重複障害	38	制度説明	30
その他(高齢)	52	その他	7

(2) 移動情報センターの運営について、各関係機関および障害当事者の保護者等に委員となっただき、移動情報センター推進会議を開催した。

第1回	日程	5月24日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	9人
	内容	(1) 移動情報センターあさひ活動報告・相談状況について (2) ガイドボランティア活動状況について (3) 平成30年度移動情報センターあさひ年間計画について
	結果	(1)(2) 報告した。(3) 説明した。
第2回	日程	10月26日(金)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	12人
	内容	(1) 移動情報センターあさひ上半期報告状況について (2) ケース報告について (3) 各種報告
	結果	(1)(3) 報告した。(2) 検討した。
第3回	日程	2月22日(金)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	12人
	内容	(1) 移動情報センターあさひ平成31年度事業計画(案)について

	(2) ケース検討について (3) 各種報告
結 果	(1) (3) 報告した。(2) 検討した。

(3) ガイドボランティア事業として、ガイドボランティアの育成および活動支援を行い、ボランティアの担い手の確保に努め、移動を切り口とした地域のつながりをつくるコーディネートを行った。

ガイドボランティア登録者	73 人	前年度：78 人
ガイドボランティア支援対象者	49 人	前年度：45 人

【ガイドボランティア交流会の開催】

第1回	日 程	8月22日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	11 人
	内 容	(1) 研修「通学支援について」 講師：市立若葉台特別支援学校 特別教育コーディネーター 中村 一樹氏 (2) 意見交換「日頃の活動を通じてよかったこと、悩んでいることなど」
第2回	日 程	12月11日(火)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	8 人
	内 容	(1) 研修「家族の障害受容について」 講師：市立若葉台特別支援学校 特別教育コーディネーター 中村 一樹氏 (2) 意見交換「日頃の活動を通じてよかったこと、悩んでいることなど」

(4) ガイドボランティアの担い手の発掘を目的に、障害理解講座を実施した。

第1回	日 程	7月23日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	22 人
	内 容	地域で暮らす当事者家族の想い ～当事者家族の声を伺ってみませんか～ 講師：旭区基幹相談支援センター 相談支援事業主任 箕輪 佳代氏 旭区めばえ会 倉持 瞳氏
第2回	日 程	12月11日(火)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	19 人
	内 容	心のサポーター養成講座 ～知ることからはじめよう!～ 講師：特定非営利法人 共に歩む市民の会 地域生活支援拠点 ほっとぽっと 職員 福本 智氏、ボランティア 岩渕 勝美氏 当事者 久保寺 陽子氏

地域ぐるみで子育て支援

- (1) 地域における子どもの居場所づくりの支援を通じて、地域と関係団体・機関が連携し、支援が必要な子どもたちに気づき、地域内において支えあえる仕組みやネットワークを推進していくことを目的に、(1) 関係団体・機関の状況把握、(2) アンケート調査（意識調査）、(3) 講演会（P14 参照）を実施した。
- (2) 子ども食堂、学習支援など旭区内における子どもが参加できる居場所リストを作成し、HP等で情報提供を行った。
- (3) 区内子育て関係会議および学習会等に参加した。

【旭区子育て支援連絡会】

第1回	日程	6月1日（金）
	場 所	区役所 カンファレンスルーム
	内 容	(1) 平成30年度の活動計画について (2) 意見交換「各団体と連携・協力できること」
第2回	日程	3月1日（金）
	場 所	区役所 カンファレンスルーム
	内 容	(1) 平成30年度活動の振り返り (2) 平成31年度子育て支援連絡会の活動にむけて

【旭区児童虐待・DV 防止連絡会】

第1回	日程	7月26日（木）
	場 所	区役所公会堂第1・2会議室
	内 容	(1) 西部児童相談所・区福祉保健センターからの報告 (2) 情報交換「各機関の養育者への支援について」
第2回	日程	11月2日（金）
	場 所	区役所新館大会議室
	内 容	研修「心理的虐待の特徴と対応について」 講師：小出 太美夫氏（子どもの虹情報研修センター相談室長）

個別事案対策に向けた取組

旭区「ごみ屋敷」個別事案対策プロジェクトへ参加し、プロジェクトにて検討された事案の解決に向けて、地区との連携を図るとともに、区社協事業（あんしんセンターやボランティアセンター等）に繋げ、本人の生活環境の改善に向けた取組を進めた。

旭区「ごみ屋敷」個別事案対策プロジェクトへの参加：3回

2 権利擁護事業の推進

相談機能の充実

- (1) 区役所や地域ケアプラザ、専門機関より受けた相談に対し、各機関と連携を図り解決に向けて対応した。また、区社協内の各事業で把握した相談に対し、地区担当職員を通じて該当する地区の地区社協や民児協等へ内容を共有し、地区の個別課題とし解決に向けた取組を進めた。事業に限らない総合窓口として、対応した（151件）
- (2) 各機関等で開催された研修参加等により、職員の相談対応力の強化を図った。

旭区社協あんしんセンターの運営

【権利擁護事業】

(市社協委託料) (利用料収入) 1,156千円【759千円】

福祉サービスの利用や金銭出納などが困難な高齢の方や障害のある方を対象とし、日常生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、下記のサービスを実施した。

- ①福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス
- ②預金通帳など財産関係書類等預かりサービス

内容		実績	前年度
初回相談件数(件)		70	95
サービス	定期訪問・金銭管理サービス 件数(件)	102	88
	預かりサービス件数(件)	13	13
利用者総数(人)		102	88
新規利用者数(人)		40	44
終了利用者数(人) ※		17	25
活動件数(件)		5,286	5,246

※当年度内に契約し終了した利用者や、預かりサービスの終了者を含む

【市民後見人養成・活動支援事業】

横浜生活あんしんセンターと連携し、市民後見人育成および活動支援を行った。

- (1) 市民後見人登録者との面談の実施 2回
- (2) 旭区内市民後見人バンク登録者 1人(後見人受任者)

【権利擁護事業・成年後見制度普及啓発】

日程	内容・対象
10月3日(水)	エンディングノート講座(若葉台地域ケアプラザ) 成年後見制度・権利擁護事業説明
10月30日(火)	生活支援課向け職員説明(旭区役所生活支援課) 権利擁護事業説明

11月3日(土・祝)	エンディングノート講座(上白根コミュニティハウス) 成年後見制度・権利擁護事業説明 ※白根・上白根・ひかりが丘の3地域ケアプラザ主催
12月6日(木)	よこはま地域福祉フォーラム(はまぎんホール) 権利擁護事業事例発表 *市沢地区民児協会長・左近山CP主任ケアマネジャーと一緒に発表
12月11日(火)	民生委員児童委員向け説明(若葉台地区民児協) 成年後見制度・権利擁護事業説明
2月9日(土)	エンディングノート講座(南希望が丘地域ケアプラザ) 成年後見制度・権利擁護事業説明
2月21日(木)	区社協会員向け合同研修会(旭区社協) 地域共生社会の実現に向けて(研修の一部に成年後見制度について説明)
2月28日(木)	新任ケアマネジャー向け研修会(旭区主任ケアマネジャー主催) 権利擁護事業説明

【成年後見サポートネットへの参加】

日 程	①7月24日(火) ②10月10日(水) ③2月7日(木)
場 所	旭区役所
内 容	①・自己紹介・相談状況の報告について ・ミニ研修「法定相続証明制度について」 ②・事例検討「認知症の被後見人と精神障害の妻の高齢二人世帯への支援について」 ・成年後見申し立て時のポイント ③講座「任意後見制度について」

【成年後見サポートネット分科会の開催および参加】

日 程	①7月30日(月) ②9月20日(木) ③3月5日(火)
場 所	①泉区役所 ②旭区福祉保健活動拠点 ③瀬谷区福祉保健活動拠点
内 容	・市民後見人が受任しているケースや関連するケース等についての事例検討 ・関連する各種制度についてのミニ講座 ・各専門職種(弁護士等)より制度や支援方法等の説明

3 災害時における要援護者の支援体制の充実

災害ボランティア連絡会の活動支援

災害時のボランティアコーディネートを円滑に行うための啓発・人材育成・関係団体とのネットワーク構築を担う組織「災害ボランティア連絡会」の定例会や各訓練等に参加し、情報共有および活動支援を行った。また福祉避難所訓練会に2回参加した。

4 生活に困難を抱える方々への支援

おでかけ支援（送迎サービス）事業の推進

委託事業：（市社協委託料）（利用料収入）3,630千円【3,804千円】

区社協独自事業：（利用料収入）419千円【511千円】

旭区内の在宅の高齢者、難病患者、障害者でひとりでは公共の交通機関を利用した外出が困難な方を対象に、運転ボランティアとの協働により福祉有償運送（関神福第147号）として車椅子対応の車両での送迎を行った。

【活動実績】

委託事業	利用者数	利用回数
	156人	760件
区社協独自事業	利用者数	利用回数
	61人	409件

【ボランティア登録者数】 28人

【ボランティア向け研修】

日程	①12月7日(金) ②2月23日(土)
場所	①西区福祉保健活動拠点 ②旭区福祉保健活動拠点
人数	①30人（うち旭区4人） ②22人
内容	①送迎車の自動車保険について 講師：セコム損害保険株式会社 神奈川支店横浜営業課 課長 佐川 重雄氏 横浜市域における事故の傾向と事故対応について 講師：横浜市社会福祉協議会 地域福祉課 担当職員 山中 裕剛氏 ②送迎利用者ご家族の話し（2人） 知的障害について 講師：瀬谷養護学校 連携支援担当 総括教諭 恩田 哲也氏 ①については、保土ヶ谷区・瀬谷区・泉区・栄区・戸塚区との合同開催

要援護世帯への支援

（県社協受託金収入）3,537千円【3,512千円】

生活課題等を抱えている要援護世帯等の支援を行った。また、当該事業の対象にならない世帯についても生活課題の解決に向け、他事業の紹介や他機関につなげるなどの支援を行った。また、区社協内各事業とも情報を共有し、生活課題の解決に向けた必要なサービスへ繋げた。

（1）生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や高齢者・障害者世帯などの自立支援を図ることを目的に相談を受け付け、資金の貸付条件をもとに貸付につなげた。また、償還の相談対応や手続きに関する支援を行った。

	相談件数	貸付決定件数	貸付金額（円）
総合支援資金貸付	29	0	0
臨時特例つなぎ資金貸付	5	0	0
緊急小口資金貸付	154	2	200,000
福祉資金（教育支援資金等）	1,778	68	20,175,000
不動産担保型生活資金	130	0	0
合 計	2,096	70	20,375,000

(2)生活困窮者自立支援施策における区役所との連携

様々な事情により生活していくことが困難になっている方の状況に応じ、自立に向かっていけるよう支援調整会議（5月、9月開催）等を通じて区役所、関係機関と連携をし、解決に向けた支援を行った。

○セカンドハーベストジャパンによる食料支援の調整：23件

(3)説明会・研修会の開催

①教育支援資金説明会

4区内中学校・高等学校（旭区・保土ヶ谷区・瀬谷区・泉区）を対象に、教育支援資金について、進路指導担当教諭へ教育支援資金の説明会を開催した。

日 程	8月2日（木）
場 所	二俣川地域ケアプラザ 多目的ホール
人 数	16人（中学校10校、高等学校3校、他関係機関）
内 容	（1）教育支援資金について （2）申請までのスケジュールについて （3）他制度との関係について

②困窮者支援と地域福祉連携研修会

生活困窮者支援を通じた地域づくりの視点を学び、困窮者支援に携わる関係機関の連携による地域支援の方法について研修会を開催した。

日 程	2月13日（水）
場 所	二俣川地域ケアプラザ 多目的ホール
人 数	28人 （旭区・保土ヶ谷区・瀬谷区）区役所生活支援課・区社協職員他
内 容	（1）困窮者支援と地域福祉連携について、（2）演習

(4)火災等の災害罹災世帯への見舞金を交付した。

○17件 125,000円（共同募金より配分）

（参考）17件 125,000円（県共同募金会より配分）、

23件 841,000円（日本赤十字募金より配分）

(5)低所得者法外援護事業の実施

公的または私的な援護が受けられず一時的に困窮し、かつ緊急な援護を必要とする方に対し、低所得者法外援助費を支給した。

○13件 16,967円

<推進の柱3：地域の取組で元気カアアップ>

幅広い市民参加から地域福祉保健の取組が広がる仕掛けをつくる

1 意欲や経験を発揮できる場と出番づくり

ボランティアセンターの事業推進

(市受託金)(共同募金) 1,574 千円【3,549 千円】

地域福祉の重要な担い手としてのボランティア活動を推進するため、ボランティアの育成やコーディネート、ボランティアに関する情報の発信など、多岐にわたるボランティア事業を関係機関と連携しながら充実、強化した。また、各ボランティア活動団体の支援として、相談対応、情報提供を行った。

(1) ボランティア相談対応や調整、登録者情報の管理を行った。

【相談調整】

依頼件数	依頼件数(件)	紹介件数(件)	紹介人数(人)	調整数(回)
児童	1	1	4	15
障害	121	82	146	1,081
高齢	112	54	170	927
外国人	0	0	0	0
限定せず	13	6	27	183
その他	5	4	18	60
合計	252	147	365	2,266

【登録者数】

個人	783(うち新規 65)人	前年度：795 人
団体	95(うち新規 13)団体	前年度：237 団体

【ニーズ対応率】

H30	58%
H29	80%

(2) ボランティア活動の周知及び促進を図るため、「あさボラ通信」「会員施設ボランティア募集一覧」を発行した。また、区社協ホームページや広報紙「あさひいきいき宣言」等で情報提供を行った。

【「あさボラ通信」の発行】

発行回数	発行部数	内容
4回 (7・9・12・3月)	各 2,000 部	個人ボランティア、団体ボランティアの紹介、ボランティア募集案件、講座等お知らせ等

【「会員施設ボランティア募集一覧」の発行】

発行回数	発行部数	内容
3回 (7・9・12月)	各 1,500 部	会員施設のボランティア募集一覧、ボランティア活動のポイント等

(3) 現在活動中のボランティアや新規登録ボランティアのための講座を開催し、今後ボランティア活動をする上での大切な考え方を学んだ。

日 程	10月25日(木) 14:00～16:00
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	27人
内 容	①「人生100年時代のボランティア活動」 講師：ダイヤ高齢社会研究財団 澤岡 詩野氏 ②参加者による意見交換

- (4)施設のボランティア担当者を対象に、自施設でボランティアを受け入れるにあたって、コーディネートの基礎知識やボランティアを受け入れる意義などを学び、参加者同士で意見交換を行った。

日 程	2月26日(火) 13:30～16:30
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	18人
内 容	①講義「施設のボランティア担当者のためのボランティア受入講座」 ～ボランティアが活動しやすい環境づくりのために～ 講師：横浜創英大学 こども教育学部 教授 小野智明氏 ②参加者による意見交換

- (5)各種ボランティア保険の窓口業務を行った。また、各種ボランティア保険の説明会を実施した。

【ボランティア保険説明会】

日 程	2月19日(火)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	47団体47人
内 容	「ボランティア活動保険」、「ボランティア行幸用保険」、「福祉サービス総合補償」、「送迎サービス補償」
講 師	損害保険ジャパン日本興亜株式会社（ボランティア保険引受損害保険会社） 横浜支店営業第三課 特命課長 石田 健介氏

- (6)福祉関連物品の貸出・整備を行った。

名称	貸出件数
車イス	92
高齢者疑似体験セット	19
アイマスク	3
白杖	2
点字器	3

- (7)運営・事業の方向性を福祉保健活動拠点運営委員会にて検討した。(P18 参照)

福祉教育（福祉啓発）の推進

様々な世代の人たちが地域のつながりや助け合いなど福祉への関心を持ち、意識を

高められるよう福祉教育や福祉啓発に取り組んだ。

【相談対応件数】（P54 参照）

種別	依頼 件数 (件)	対応 件数 (件)	コマ 数 (日)	調整数 (回)	延べ 参加者数 (人)	内容
小学校	25	23	57	557	2,232	視覚障害者による講話 他
中学校	6	5	9	104	870	知的・精神障害当事者による講話他
高校	2	2	2	15	236	ボランティア、区社協について
企業	1	1	2	15	1,000	区内地域作業所とものづくり体験
地域	1	1	2	3	不明	聴覚障害者による講話
合計	35	32	72	694	4,338	

《協力団体》順不同

アイメイトあさひ、旭区視覚障害者福祉協会、横浜市キャラバンメイト旭区ひまわりの会、旭かけはし、横浜市聴覚障害者福祉協会、View-Net 神奈川、横浜市立ろう特別支援学校、地域活動支援センターウィングス、虹のかけはし、旭区ボランティアセンター登録者、若葉台地域ケアプラザ、川井地域ケアプラザ、二俣川地域ケアプラザ、今宿西地域ケアプラザ、左近山地域ケアプラザ、上白根地域ケアプラザ、各地区民生員児童委員協議会、各地区社会福祉協議会 他

【福祉教育連絡会の開催】

各校が次年度以降、福祉学習を企画するにあたり、その考え方を学び情報提供を行うことを目的として開催した。

日 程	2月5日(水)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	13人
内 容	①講演：「障害って何だろう？障害はどこにあるんだろう？」 ～子ども達に伝えたい障害の捉え方～ 講師：特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者情報雇用福祉ネットワーク（通称：View-net 神奈川）副理事長 新城 直氏 ②参加者による意見交換 ③福祉教育依頼に関する事務連絡

【研修会の開催】

「先生のための福祉講座」（市社協、18区社協、教育委員会の共催）

教員が地域福祉や当事者への理解を深め、今後の学校教育に活かせる視点等を習得することを目的として開催した。

日 程	8月23日(木)
場 所	横浜市健康福祉総合センター
人 数	23人
内 容	(1)導入講座「福祉とは、福祉教育とは」

	<p>「福祉教育を通して子どもたちの社会参画を育むために」</p> <p>講師：学習院大学 文学部教育学科 教授 長沼 豊氏</p> <p>(2)事例紹介 市内の福祉学習事例紹介（南区・磯子区）</p> <p>(3)学校で取り組んでいくための検討</p> <p>「福祉教育をより効果的に進めていくために」</p>
--	--

【ジュニアボランティア活動支援】

区役所と民生児童委員協議会と連携し「ジュニアボランティア」の活動について支援を行った。また、「ジュニアボランティア体験感想文集」を、共同募金を財源として発行した。

障害児・者が安心できる暮らしをめざした支援

障害児・者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、理解啓発事業や相談事業等を通じてその実現を目指した。

(1) 旭区地域自立支援協議会への参加

障害のある方への相談支援の体制を検討するための旭区地域自立支援協議会に参画、区内関係機関の参加による全体会および各部会に参加し相談課題や具体の取組策の検討を行うとともに、相互の連携を強めた。

また、日中部会を中心として開催した「あっぱれフェスタ」への協力を行った。

【各会議への参加】

会議名	日程
事務局会議	①4月10日(火) ②5月8日(火) ③6月12日(火) ④9月11日(火) ⑤10月9日(火) ⑥11月13日(火) ⑦12月11日(火)⑧3月12日(火)
代表者会議	①6月8日(金) ②1月11日(金)
定例会	①4月18日(水) ②7月18日(水) ③10月17日(水) ④1月16日(水)
ヘルパー連絡会	①10月10日(水)
旭区地域生活支援 フォーラム実行委員会	①8月1日(火) ②8月22日(火)③9月7日(火)④9月 21日(火)⑤10月17日(火)

【あっぱれフェスタへの協力】

区内の障害者作業所の周知を目的として、パネル展示や自主製品の販売等を行った。

日 程	①7月5日(水) ②7月6日(金) ③7月7日(土)
場 所	①②旭区福祉保健活動拠点③旭公会堂
内 容	①②作業所製品販売、喫茶コーナー、作業所紹介パネル展示 ③D-1 グランプリ(障害当事者による舞台発表)
共 催	旭区地域自立支援協議会 日中部会

【旭区地域生活支援フォーラムへの協力】

障害理解への周知を目的に講演と事例発表、作業所製品販売を行った。

日 程	12月8日（土）
場 所	旭公会堂
内 容	①事例報告（鶴ヶ峰地区、上白根地区） ②シンポジウム
主 催	旭福祉保健センター高齢・障害支援課
協 催	旭区地域自立支援協議会

企業の社会貢献活動

二俣川にある「ヘアメイク ファンジョン」にて、定休日（第4火曜日）の店舗を開放し、区内の障害のある方々（障害者地域作業所利用者）のヘアメイクを実費にて実施。売上げは善意銀行へ寄付。

日 程	①4月24日（火） ②5月29日（火） ③6月26日（火） ④7月24日（火） ⑤9月25日（火） ⑥10月23日（火） ⑦11月27日（火） ⑧1月22日（火） ⑨2月26日（火） ⑩3月26日（火）
人 数	81人

善意銀行事業

地域のみなさま（区民・団体・企業等）からお預かりした善意の寄付（金品・物品）を寄付者の意向をふまえ、配分を行った。また旭区社協独自助成の原資とした。

※金品寄付者の詳細については、P55 参照。

【寄付金の受入】

繰越金(円)	寄付件数(件)	寄付額(円)	配分額(円)	配分残額(円)
9,663,918	34	1,194,037	917,600	9,940,355

【寄付金の配分】（再掲）

	使 途	金 額(円)	配 分 先
1	ふれあい助成金激変緩和措置	310,000	平成29年度ふれあい助成金の配分を受けた活動団体のうち、平成30年度入会の承認を得た本会正会員（16団体）
2	ボランティア備品購入助成金	409,000	本会第6種会員（ボランティア団体）（6団体）
3	地域の見守り支えあい活動助成金	198,600	地域の見守り支えあい活動をしている団体（8団体）

【物品の受入】

No	寄付者名	寄付品	配分先
1	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容福祉券	障害当事者：254 件
2	旭ジャズまつり実行委員会	旭ジャズまつり入場券	区内障害施設・障害団体：11 団体（計 50 枚）
3	明るい社会づくり運動旭区協議会	車いす	特別養護老人ホーム陽光苑、工房アリアーレ、NPO 法人でっかい空：各 1 台

新あさひみらい塾の開催

《新規事業》

（市負担金収入）900 千円

身近な困りごとや生活課題によりそい、支えあいながら住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことのできる社会の実現に向けて、区民が地域活動における認識を深め、グループワーク等を通じて学び合うとともに、近隣地区の先駆的な活動を現地見学することで、自らの地域課題を主体的に捉え解決していくための気づきや可能性を拡げることがを目的に実施した。（旭区区政推進課との協働事業）



内容等（受講者 18 人：10 地区の連合自治会長、地区社協からの推薦者）

回	日時	内容・会場・講師等	受講者数
1	10 月 24 日（水）	開校式、講義：活動を見つめよう （これからの地域福祉とは、地域資源の発見） （講師）渋谷 篤男氏（社会福祉法人中央共同募金会 常務理事）	17
2	11 月 12 日（月）	実践者から学ぶ① （ゲストスピーカー）神奈川区大口・七島地区、菅田地区地域活動者	18
3	11 月 23 日（金・祝）	先駆的な活動について（視察①）（神奈川区） （場所）カフェ七島みなみ（町内会館）	14
	12 月 7 日（金）	先駆的な活動について（視察②）（神奈川区） （場所）菅田南町あおぞらサロン（庭園） なごみていサロン（サービス付き高齢者向け住宅）	16
	12 月 14 日（金）	先駆的な活動について（視察③）（神奈川区） （場所）あおぞらサロンはら（個人宅ガレージ）	11
4	1 月 15 日（火）	実践者から学ぶ②： （ゲストスピーカー）茅ヶ崎市内地区ボランティアセンター、茅ヶ崎市社会福祉協議会職員	16
5	1 月 16 日（水）	先駆的な活動について（視察④）	10

		(内容) 茅ヶ崎市湘南地区支援ネットワーク会議	
	1月25日(金)	先駆的な活動について(視察⑤) (内容) 茅ヶ崎市湘北地区支援ネットワーク会議(午前:6人) 茅ヶ崎市小和田地区支援ネットワーク会議(午後5人)	11
6	1月28日(月)	講義:身近な地域の支えあい活動 (協働による地域づくり/地域共生社会に向けて) 演習・振り返り、閉校式 (講師) 渋谷 篤男氏(社会福祉法人 中央共同募金会 常務理事)	17
	1月28日(月)	昼食会(交流会)	13

各講座開催にあたり、地域ケアプラザ 生活支援コーディネーターにご協力、参加いただいた。

法人運営

1 区社協の基盤整備の推進

(1) 区社協の基盤強化のための会員拡充を進めた。

平成 30 年度入会 6 団体

平成 30 年度退会 9 団体

【会員数】平成 31 年 3 月末現在

第 1 種(施設)	83	第 6 種(ボランティア団体)	59
第 2 種(民児協)	20	第 7 種(福祉団体)	24
第 3 種(地区社協)	19	第 8 種(行政)	4
第 4 種(自治会・町内会)	19	第 9 種(学識)	1
第 5 種(当事者団体)	31	合計：260 (前年度 265)	

(2) 賛助会費の募集

各地区連合自治会町内会の協力のもと各地区社会福祉協議会と協働で実施した。

○総額：5,210,060 円 (19 地区総額・目安額：1 世帯 70 円)

(3) 福祉基金の積立・活用

旭区社会福祉協議会事業における財源を確保するため、福祉基金の積立と運用を行った。

○総額：79,952,734 円

(4) 市民からの提案、苦情解決への対応

市民からの提案 1 件

内容：「生活福祉資金」制度の年齢引き上げについての意見

内容：融資を受けて完済する年齢を 73 歳から 85 歳くらいに引き上げてほしい。または融資金額の上限を最高 10 万円以内にしてほしい。

回答：提案内容について、神奈川県社会福祉協議会へ報告し、検討するよう依頼。なお、現在最終償還年齢は 75 歳までとなっており、また、緊急小口資金の貸付上限額は 10 万円以内となっているため、その範囲内で必要な額の貸付が可能。

苦情 0 件

2 理事会・評議員会・分科会・委員会の開催

【理事会】6 回

第 1 回	日 程	6 月 7 日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	理事 7 人(定数：10 人)
	内 容	(1) 平成 29 年度 旭区福祉保健活動拠点(指定管理者)事業報告および収入支出決算報告について

		(2) 平成 29 年度 旭区社会福祉協議会事業報告および収入支出決算報告について (3) 評議員選任・解任委員会委員の選任について (4) 評議員選任・解任委員会の招集について (5) 評議員選任候補者の推薦について (6) 評議員会の招集について (7) 顧問の選任について (8) 会員の入会について (9) 平成 30 年度「新あさひみらい塾」について 報告事項・その他
	結 果	(1)～(9)承認された。
第 2 回	日 程	6 月 20 日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	理事 9 人(定数：11 人)、監事 1 人
	内 容	(1)平成 30 年度一般会計収入支出予算の補正について (2)評議員会の招集について 報告事項・その他
	結 果	(1) (2)承認された。
第 3 回	日 程	11 月 20 日(火)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	理事 9 人(定数：11 人)、監事 2 人
	内 容	(1) 会員の入会について (2) 第 8 回きらっとあさひ福祉大会表彰式典の実施方法について 報告事項・その他
	結 果	(1) (2)承認された。
第 4 回	日 程	1 月 30 日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	8 人(定数：11 人)、監事 3 人
	内 容	(1) 評議員会の招集について (2) 2020年度赤い羽根共同募金地域福祉事業費ならびに2019年度年末たすけあい援護費使途計画について 報告事項・その他
	結 果	(1)(2)承認された。
第 5 回	日 程	3 月 19 日(火)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	9 人(定数：11 人)、監事 2 人
	内 容	(1) 会員の入会について (2) 平成 30 年度収入支出予算の補正について (3) 平成 31 年度(2019 年度)旭区福祉保健活動拠点(指定管理者)事業計画(案)および収支予算(案)について (4) 平成 31 年度(2019 年度)旭区社会福祉協議会事業計画(案)お

		よび収入支出予算（案）について （５）旭区社会福祉協議会規程・要綱等の改廃及び制定について （６）平成 31 年度（2019 年度）旭区社会福祉協議会の広報について 報告事項・その他
	結 果	（１）～（６）承認された。

【評議員会】 3 回

第 1 回	日 程	6 月 22 日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	評議員 13 人(定数：16 人)、監事 1 人
	内 容	(1) 平成 29 年度 旭区福祉保健活動拠点（指定管理者）事業報告および収入支出決算報告について (2) 平成 29 年度 旭区社会福祉協議会事業報告および収入支出決算報告について (3) 理事の選任について 報告事項
	結 果	(1)～(3)承認された。
第 2 回	日 程	9 月 19 日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	評議員 18 人(定数：23 人)、監事 2 人
	内 容	(1) 平成30年度一般会計収入支出予算の補正について 報告事項・その他
	結 果	(1)承認された。
第 3 回	日 程	3 月 29 日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	評議員 18 人(定数：23 人)、監事 2 人
	内 容	(1) 平成30年度収入支出予算の補正について (2) 平成31年度（2019年度）旭区福祉保健活動拠点（指定管理者）事業計画（案）および収支予算（案）について (3) 平成31年度（2019年度）旭区社会福祉協議会事業計画（案）および収入支出予算（案）について (4) 旭区社会福祉協議会 規程・要綱等の改廃及び制定について平成 29年度一般会計収入支出予算の補正について 報告事項・その他
	結 果	(1)～(4)承認された。

【評議員選任・解任委員会】 1 回

第 1 回	日 程	8 月 27 日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	9 人(定数：11 人)、監事 2 人
	内 容	評議員の選任について

	結 果	承認された。

【監事監査会】

日 程	5月28日(月)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	2人
内 容	(1) 平成29年度の業務監査 (2) 平成29年度の財務監査
結 果	(1)(2) 承認された。

【業者選定委員会】

第1回	日 程	6月22日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	3人
	内 容	(1) 平成30年度 旭区福祉保健活動拠点「ぱれっと旭」机・椅子・台車の購入の業者選定について
	結 果	(1) 提案の通り6社を選定した。
第2回	日 程	1月30日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	3人
	内 容	(1) 平成31年度 旭区福祉保健活動拠点「ぱれっと旭」清掃委託契約について
	結 果	(1) 履行状況が良好であるため、当初契約の通り現行業者と引き続き契約を結ぶこととなった。

【施設分科会】

第1回	日 程	2月21日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	7人
	内 容	(1) 次期分科会長・副分科会会長の選任について (2) 次期区社協理事候補者の推薦について (3) その他

【民生委員・児童委員分科会】

(区民生委員児童委員協議会会長会へ事務局長と1層生活支援コーディネーターが出席)

第1回	日 程	4月12日(木)
	場 所	旭公会堂 1・2号会議室
	人 数	20人
	議題依頼	無し

第2回	日 程	5月15日(火)
	場 所	旭区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	議題依頼	(1)平成30年度共同募金(街頭募金)の日程について (2)「第3回よこはま地域福祉フォーラム」報告書の配布について (3)個別支援と地域支援の融合Ⅱ 冊子の配布について
第3回	日 程	6月14日(木)
	場 所	旭公会堂 1・2号会議室
	人 数	20人
	議題依頼	(1)平成30年度「生活福祉資金借受世帯状況書」の提出について (2)平成30年度生活福祉資金民生委員活動費の口座振込について (3)平成30年度共同募金(街頭募金)の日程について
第4回	日 程	7月12日(木)
	場 所	区役所外部特別会議室
	人 数	20人
	議題依頼	(1)平成30年度「生活福祉資金新任民生委員研修会」開催について (2)「2019年 心のバリアフリーカレンダー」作品募集について (3)ボランティア情報誌「あさボラ通信」第4号の発行について (4)「子供食堂など地域の子どもの居場所に関するアンケート調査」について
第5回	日 程	9月13日(木)
	場 所	旭公会堂 1・2号会議室
	人 数	20人
	議題依頼	(1)平成30年度 赤い羽根共同募金(街頭募金)について (2)ボランティア情報誌「あさボラ通信」第5号の発行およびボランティア講座「人生100年時代のボランティア活動」の開催について (3)「第4回よこはま地域福祉フォーラム」開催について (4)旭区地域福祉保健計画推進研修(第2弾)について (5)地域の見守り支え合い活動助成金について
第6回	日 程	10月11日(木)
	場 所	旭区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	議題依頼	(1)平成29年度「生活福祉資金借受世帯支援記録票整備状況報告」ご提出について (2)平成30年度共同募金「赤い羽根募金」への協力について
第7回	日 程	11月13日(火)
	場 所	旭区役所 新館 大会議室
	人 数	20人

	議題依頼	(1) 火災報知器の寄付について
第8回	日程	12月13日(木)
	場所	旭公会堂 1・2号会議室
	人数	20人
	議題依頼	(1)「横浜発！食を通じた地域づくりフォーラム」の開催について (2)自分らしく生きる福祉社会を目指してパンフレットについて (3)2019年「心のバリアフリーカレンダー」の送付ならびに「心のバリアフリーの絵作品展」の開催について (4)「第8回 きらっとあさひ福祉大会 チラシ案について (5)あさボラ通信第6号の発行について
第9回	日程	2月14日(木)
	場所	旭公会堂 1・2号会議室
	人数	20人
	議題依頼	(1)第4回よこはま地域福祉フォーラム開催報告について (2)第15回旭区チャリティーゴルフ大会のボランティア派遣について
第10回	日程	3月14日(木)
	場所	旭公会堂 1・2号会議室
	人数	20人
	議題依頼	(1)新あさひみらい塾の報告について (2)平成31年度 「地域の見守り支えあい活動助成金」について

【地区社会福祉協議会分科会】

第1回	日程	5月24日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	43人(17地区)
	内容	(1)意見交換会「地区社協が今後取り組むべきこと」 (2)評議員および福祉保健活動拠点運営委員候補者の推薦について (3)旭区社協会員向け研修の開催について (4)地域の見守り支えあい活動 助成金について (5)高齢者への見守り活動に係る啓発物の提供について
	結果	(1)グループごとに意見交換を行った。(2)選出した。(3)～(5)説明した。
第2回	日程	9月27日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	32人(18地区)
	内容	(1)第1回 地区社協検討会について(報告) (2)第8回きらっとあさひ福祉大会概要および社会福祉功労表彰候補者の推薦について (3)旭区地域福祉保健計画推進研修 第2弾 講演会「地域を変える、子どもが変わる、未来を変える」につい

		て (4)意見交換会 ①つどいの場・交流の場づくり～地区社協にできること～ ②次世代の担い手育成～この町を好きになってもらうには～
	結 果	(1)検討会参加者より報告した。(2)(3)説明した。(4)グループごとに意見交換を行った。
第3回	日 程	11月22日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	36人(19地区)
	内 容	(1)第2回 地区社協検討会について (2)「平成30年度 よこはまの地区社協全体会」の開催について (3)地区社協分科会 視察研修について (4)各地区社協への訪問について (5)意見交換会「地域における見守り活動について」
	結 果	(1)検討会参加者より報告した。(2)～(4)説明した。(5)グループごとに意見交換を行った。
第4回	日 程	1月24日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	33人(19地区)
	内 容	(1)意見交換会「食事サービス連絡会との意見交換」 (2)次期役員選出に関するスケジュールについて (3)平成31年度 賛助会費資材アンケートについて (4)会計担当者向け研修について (5)地区社協分科会 視察研修について (6)地区社協ヒアリング実施について (7)第8回 きらっとあさひ福祉大会について
	結 果	(1)グループごとに意見交換を行った。(2)～(7)説明した。
第5回	日 程	3月12日(火)
	場 所	逗子市地域活動支援センター 久木会館
	人 数	36人(18地区)
	内 容	(1)次期分科会長・副分科会長について (2)次期区社協理事および監事候補者の推薦について (3)平成31年度 地区社協助成金について (4)平成31年度 地区社協状況書について (5)平成31年度 地区社協分科会スケジュールについて
	結 果	(1)(2)選出した。(2)～(5)説明した。

【地域組織分科会】(区連合町内会自治会連絡会定例会への出席)

第1回	日 程	4月18日(火)
	場 所	旭区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人

	内 容	(1)平成 30 年度日本赤十字社会員増強運動及び旭区更生保護協会会費について (2)広報誌「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の配布及び配布謝金の免除について
	結 果	(1)(2)依頼した。
第2回	日 程	5月17日(木)
	場 所	旭区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	旭区地域福祉保健計画推進研修(旭区社会福祉協議会会員向け研修)のご案内について
	結 果	依頼した。
第3回	日 程	6月15日(金)
	場 所	二俣川コミュニティ・サロン
	人 数	19人
	内 容	(1)平成30年度共同募金運動へのご協力について(依頼) (2)第68回“社会を明るくする運動”実施に伴うポスター掲示について
	結 果	(1)(2)依頼した。
第4回	日 程	7月18日(水)
	場 所	旭公会堂 第1・2号会議室
	人 数	19人
	内 容	広報誌「あさひいきいき宣言(No.98)」の配布について
	結 果	依頼した。
第5回	日 程	8月17日(金)
	場 所	旭区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	依頼および説明事項なし
	結 果	なし
第6回	日 程	9月18日(火)
	場 所	旭区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	平成30年度共同募金運動へのご協力について
	結 果	依頼した。
第7回	日 程	10月18日(木)
	場 所	旭区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)広報紙「保護司だより 第31号」の発行について (2)広報紙「あさひいきいき宣言(No.99)」の戸別世帯配布について
	結 果	(1)情報提供をした。(2)依頼した。

第8回	日程	11月17日(金)
	場所	旭区役所 新館2階 大会議室
	人数	19人
	内容	2019年「心のバリアフリーカレンダー」の絵作品展の開催について
	結果	依頼した。
第9回	日程	12月18日(火)
	場所	旭区福祉保健活動拠点 旭区役所 新館2階 大会議室
	人数	19人
	内容	(1)第8回きらっとあさひ福祉大会の開催並びにポスターの掲示について (2)各種表彰の受賞者について
	結果	(1)依頼した。(2)情報提供をした。
第10回	日程	1月18日(金)
	場所	二俣川コミュニティサロン
	人数	19人
	内容	(1)平成30年度日赤旭区地区委員会研修会の開催について (2)平成30年度日赤献血受付活動へのご協力について
	結果	(1)(2)依頼した。
第11回	日程	2月18日(月)
	場所	旭公会堂 1・2号会議室
	人数	19人
	内容	(1)平成31年度共同募金運動への協力依頼について (2)社会福祉協議会賛助会費のお礼及び平成31年度のご協力について (3)広報紙「更女だよりあさひ第6号」の発行について (4)広報紙「あさひいきいき宣言 (No. 100)」の戸別世帯配布について
	結果	(1)(2)お礼並びに依頼した。(3)情報提供をした。(4)依頼した。
第12回	日程	3月18日(月)
	場所	旭公会堂 1・2号会議室
	人数	19人
	内容	(1)平成30年度日本赤十字社会費募集結果報告について (2)新あさひみらい塾実施報告について
	結果	(1)(2)情報提供をした。

【当事者団体分科会】

日程	2月21日(木)11:40~12:00
場所	旭区福祉保健活動拠点 ぱれっと旭 対面朗読室
人数	3人
内容	(1)次期分科会長・副分科会長の選任について (2)次期区社協理事候補者の推薦について

結 果	(1)・(2) 承認された。
-----	----------------

【ボランティア団体・市民活動団体等分科会】

日 程	2月21日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	30人(26団体)
内 容	(1)次期分科会長・副分科会長の選任について (2)次期区社協理事候補者の推薦について (3)その他 ・平成31年度あさひふれあい助成金説明会について ・平成31年度各種ボランティア保険について
結 果	(1)・(2) 承認された。(3) 情報提供をした。

【福祉関係団体・福祉団体分科会】

日 程	2月21日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	7人(7団体)
内 容	(1)次期分科会長・副分科会長の選任について (2)次期区社協理事候補者の推薦について
結 果	(1)・(2) 承認された。

3 研修会の開催

【会員向け研修の開催】(P13 参照)

【合同分科会研修会(施設・ボランティア団体・当事者・福祉団体)】

日 程	2月21日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	43施設・団体(48人) 施設分科会：7施設(8人)、当事者分科会：4団体(4人)、ボランティア分科会：26団体(30人)、福祉関係団体・福祉団体分科会：6施設(6人)
内 容	地域共生社会の実現に向けて～共に進める地域づくり～
講 師	静岡福祉大学 教授 西尾 敦史氏

4 地域福祉関連団体との連携

(1)本会事業の目的を達成するために、申請のあった各団体活動に対し、共催・後援した。
(共催：2件、後援：8件)

	項目	事業名	主催者名	内容
1	共催	第5回あっぱれフェスタ	旭区地域自立支援協議会	○期日 7月5日(木)～7月7日(土) ○場所 旭区福祉保健活動拠点、旭公

				会堂 ○内容 展示・ワークショップ
2	共催	第 11 回旭区地域生活支援フォーラム	旭区地域自立支援協議会	○期日 12月8日(土) ○場所 旭公会堂 ○内容 講演会
3	後援	創立 30 周年記念旭区舞踊協会チャリティ発表会	旭区舞踊協会	○期日 6月3日(日) ○場所 旭公会堂 ○内容 チャリティイベント
4	後援	第 41 回住宅デー	神奈川土建一般労働組合	○期日 6月10日(日) ○場所 中希望が丘くすのき公園、都岡町内会館、他 ○内容 チャリティイベント
5	後援	第 29 回' 18 横浜旭ジャズまつり	旭ジャズまつり実行委員会	○期日 7月29日(日) ○場所 こども自然公園 野球場 ○内容 チャリティイベント
6	後援	障害児と共に歩む親への応援歌	特定非営利活動法人レクタス	○期日 10月20日(土) ○場所 県民共済みらいホール ○内容 講演会
7	後援	思春期の子どもとの付き合い方	スマイル・ラボ	○期日 10月23日(火)～11月19日(月)のうち4回 ○場所 みなくるおよび旭区福祉保健活動拠点 ○内容 講演会
8	後援	第 16 回ひかり福祉フェスタ	ひかり福祉フェスタ実行委員会	○期日 11月18日(日) ○場所 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ ○内容 模擬店・バザー等
9	後援	第 18 回希望が丘南地区クリーン活動	希望が丘南地区社会福祉協議会	○期日 12月2日(日) ○場所 善部小学校及び希望が丘南地区周辺 ○内容 クリーン活動(ゴミ拾い)等
10	後援	KKネットまつり	希望が丘・希望が丘南地区子育て応援ネットの会	○期日 12月9日(日) ○場所 希望が丘地区センター ○内容 遊びコーナー・模擬店等

(2) 次の6団体の事務局を担った。

- ①共同募金会旭区支会 ②旭保護司会
- ③旭区更生保護女性会 ④旭区遺族会
- ⑤旭区更生保護協会
- ⑥日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部旭区地区委員会

5 旭区チャリティーゴルフ大会事務局の運営

地域福祉活動のさらなる充実のため、活動資金を確保することを目的としてチャリティーゴルフ大会を開催した。(区社協善意銀行への寄付：579,767円)

日 程	5月7日(月)
場 所	戸塚カントリー倶楽部
人 数	44組(地域・関係団体) 171人

6 社会福祉士実習生受入

大妻女子大学 1人(8月1日(水)～9月12日(水)のうち各24日間)

平成30年度 あさひふれあい助成金等 助成団体一覧

【あさひふれあい助成金 要援護者支援区分】

総額(円): **8,034,000**

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	とちのき木曜会	集いの場活動	140,000
2	さえずり	集いの場活動	400,000
3	木々の会	集いの場活動	300,000
4	スタイルきっず	集いの場活動	300,000
5	サロンあさひ	集いの場活動	180,000
6	えくぼ	集いの場活動	180,000
7	みんなの会	集いの場活動	80,000
8	サロンスクエアステップの会	集いの場活動	30,000
9	サロンみんなあつまれ!	集いの場活動	50,000
10	グループきずな	集いの場活動	90,000
11	みんきちCafé	集いの場活動	50,000
12	サロンふるさと	集いの場活動	80,000
13	まきラボ子ども文庫	集いの場活動	80,000
14	旭南部地区お茶のみサロンほっと	集いの場活動	30,000
15	つづきの会	集いの場活動	64,000
16	第2あゆみ会	集いの場活動	80,000
17	親子サロン	集いの場活動	75,000
18	かみふうせん	集いの場活動	80,000
19	つぶらの会	集いの場活動	80,000
20	子育てサロンぽっかぽか	集いの場活動	40,000
21	笹野台子育てサロン	集いの場活動	70,000
22	旭北第2ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
23	旭北第一ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
24	みなとの茶店	集いの場活動	80,000
25	旭南部の会MaMa♡Kids	集いの場活動	55,000
26	今宿東町子育てサロン コアラちゃん	集いの場活動	80,000
27	二俣川ニュータウン地区子育てサロン わいわいクラブ	集いの場活動	40,000
28	お食事サロン「四季彩」	集いの場活動	40,000
29	白根ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
30	今宿西町寿々の会	集いの場活動	80,000
31	希望が丘竹の会	集いの場活動	80,000
32	サロン親睦	集いの場活動	50,000
33	ミニデイサービスあかり	集いの場活動	80,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
34	きっさプルメリア	集いの場活動	80,000
35	第4鶴の会	集いの場活動	80,000
36	旭北ふれあいサロン	集いの場活動	80,000
37	第2鶴の会	集いの場活動	80,000
38	すずらん会	集いの場活動	40,000
39	今宿東町老人昼食会	集いの場活動	80,000
40	旭北第4ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
41	萌ぎ会	集いの場活動	80,000
42	第3鶴の会	集いの場活動	80,000
43	はなみずきの会	集いの場活動	80,000
44	今宿すみれ会	集いの場活動	80,000
45	第一鶴の会	集いの場活動	80,000
46	みなまきよこ連	集いの場活動	80,000
47	笹野台昼食会	集いの場活動	80,000
48	ワンコインカフェ吹上の会	集いの場活動	80,000
49	希望が丘 希望ヶ丘南地区子育て応援ネットの会(KKネットの会)	集いの場活動	80,000
50	子育てサロン笑顔	集いの場活動	50,000
51	万騎が原おたのしみ会	集いの場活動	80,000
52	ひかりが丘薬膳料理の会	集いの場活動	80,000
53	希望が丘松の会	集いの場活動	80,000
54	ささえ愛ふじみ	集いの場活動	80,000
55	左近山第二ほのぼの会	集いの場活動	80,000
56	ピヨピヨクラブ	集いの場活動	20,000
57	おふくろの味サロン	集いの場活動	80,000
58	サロン散歩道	集いの場活動	80,000
59	かるがもサロン	集いの場活動	80,000
60	グループ折鶴	集いの場活動	80,000
61	今宿東町お茶のみサロンひなた	集いの場活動	50,000
62	旭北地区子育て支援運営委員会(A2ライン)	集いの場活動	60,000
63	県営今宿すずらん昼食会	集いの場活動	80,000
64	おひさまの会	集いの場活動	70,000
65	今宿東自治会ふれあい昼食会	集いの場活動	50,000
66	二俣川ニュータウンチョコットしえんたい	家事・生活支援活動	100,000
67	あさひふれあいコール	家事・生活支援活動	160,000
68	若葉台なんでも相談	家事・生活支援活動	80,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
69	ちょこっと応援団	家事・生活支援活動	160,000
70	リトルサービス	家事・生活支援活動	70,000
71	キャッツハンズクラブ	家事・生活支援活動	40,000
72	おべんとうひよどり	配食活動	240,000
73	わかたけの会	配食活動	160,000
74	ボランティア配食グループ虹	配食活動	300,000
75	宅配ほほえみ	配食活動	100,000
76	お元気会	配食活動	80,000
77	NPO法人いっぱい若葉台事業所 のこのこの会	送迎活動	250,000
78	特定非営利活動法人あさひ	送迎活動	350,000
79	特定非営利活動法人 たちばな福祉会	送迎活動	300,000

【あさひふれあい助成金 障害児者支援区分】

総額(円): **1,424,000**

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	NPO法人クラブハウス二俣川(精神障がい者就労支援事業所アレビア)	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
2	ブラインドシンクロナイズドスイミングクラブ	障害児者支援活動・当事者活動	72,000
3	ライトセンター大正琴クラブ	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
4	NPO法人 打鼓音	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
5	ウキウキアクアクラブ	障害児者支援活動・当事者活動	72,000
6	ハーモニカクラブあすなろ	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
7	おりしす会	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
8	手芸クラブ	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
9	なかよし支援グループ	障害児余暇支援交流活動	100,000
10	ひよこの会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
11	きらっとハピネス	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
12	さくら会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
13	トット&ポッポ	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
14	失語症旭区友の会 言喜の会	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
15	ひまわり会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
16	旭区聴力障害者福祉協会	障害児者支援活動・当事者活動	30,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
17	横浜マツク	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
18	旭区在宅介護者みなわかい	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
19	NPO法人もみの木 もみの木第一作業所	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
20	木楽舎	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
21	旭区地域訓練会	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
22	旭区点訳ボランティア てんとうむし	視覚・聴覚障害者支援活動	50,000
23	朗読録音ボランティア なみの会	視覚・聴覚障害者支援活動	50,000
24	録音グループエコー	視覚・聴覚障害者支援活動	50,000

【あさひふれあい助成金】福祉のまちづくり区分

総額(円):

905,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	歌うてまり会	その他	40,000
2	ホッと・ミュージック	その他	40,000
3	JUMP★UP-KIDS	子育て支援事業(支援者以外が行う自主的な活動)	40,000
4	日本語ボランティア「虹の会」	その他	40,000
5	PCどりーむ	その他	40,000
6	旭区ひまわりの会	福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
7	つながりの丘	施設・病院支援ボランティア(施設内での傾聴ボランティア含む)	40,000
8	なかおバタフライガーデンの会	自然環境活動	40,000
9	今宿地区中学生ボランティア活動実行委員会	地域住民交流(お祭り、運動会等)	40,000
10	若葉台リンク	セルフヘルプグループ(家族会、介護者の集い、難病・患者会、依存症の会)	40,000
11	親子グループ遊	子育て支援事業(支援者以外が行う自主的な活動)	35,000
12	万騎が原支えあいネットワークかけはしねっと	その他	40,000
13	ASD親子勉強会クレア	福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
14	ぱれっと旭おもちゃ病院	おもちゃドクター	40,000
15	ちくちくあさひ	布おもちゃ	20,000
16	NiCoRi(ニコリ)	子育て支援事業(支援者以外が行う自主的な活動)	40,000
17	ももいろタンポポ	本の読み聞かせ	40,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
18	旭区精神障害者家族会(あけぼの会)	セルフヘルプグループ(家族会、介護者の集い、難病・患者会、依存症の会)	40,000
19	ぼろろん座	その他	40,000
20	愛を伝えよう〜クローバーリング「クローバーズ」	その他	30,000
21	コーヒーボランティアペリゴール	その他	40,000
22	男の元気食堂	地域住民交流(お祭り、運動会等)	40,000
23	利用サークル パッションひかり	地域住民交流(お祭り、運動会等)	30,000
24	スマイル・ラボ	福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	30,000

【あさひふれあい助成金 健康増進区分】

総額(円): 10,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	Musica 4 Tune	施設等を訪問する特技ボランティア	10,000

【あさひふれあい助成金 新規立ち上げ団体】

総額(円): 120,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	桐が作ほっと	要援護者支援区分(集いの場)	40,000
2	みんなの集いの場	要援護者支援区分(集いの場)	40,000
3	サロン ドゥ 白根	要援護者支援区分(集いの場)	40,000

【旭区社協独自助成金 激変緩和措置】

総額(円): 310,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	サロンあさひ	要援護者支援区分	20,000
2	旭北第2ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
3	旭北第一ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
4	白根ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
5	ミニデイサービスあかり	要援護者支援区分	20,000
6	第4鶴の会	要援護者支援区分	20,000
7	今宿東町老人昼食会	要援護者支援区分	20,000
8	旭北第4ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
9	萌ぎ会	要援護者支援区分	20,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
10	はなみずきの会	要援護者支援区分	20,000
11	笹野台昼食会	要援護者支援区分	20,000
12	万騎が原おたのしみ会	要援護者支援区分	20,000
13	希望が丘松の会	要援護者支援区分	20,000
14	かるがもサロン	要援護者支援区分	20,000
15	おひさまの会	要援護者支援区分	10,000
16	さくら会	障害児者支援区分	20,000

【旭区社協独自助成金 ボランティア備品購入】

総額(円): **409,000**

	団体名	購入希望品	助成額(円)
1	児童見守り安全ボランティア会	ベスト	100,000
2	みなまきよこ連	キーボード、プロジェクター	80,000
3	おふくろの味サロン	エプロン、帽子	9,000
4	わかたけの会	エプロン、三角巾	100,000
5	おひさまの会	カラオケ機器	100,000
6	朗読録音ボランティア「なみの会」	CD-RW	20,000

【旭区社協独自助成金 地域の見守り支えあい活動】

総額(円): **338,600**

	団体名	購入希望品	助成額(円)
1	鶴ヶ峰地区西民生委員児童委員協議会	クリスマス会の開催(生活困窮な子ども達対象)	50,000
2	川井地区民生委員児童委員協議会	防寒・防災グッズの配布(75才以上1人暮らし高齢者見守り対象)	48,600
3	市沢地区民生委員児童委員協議会	防災グッズの配布(75才以上、1人暮らし高齢者世帯生活困窮者対象)	50,000
4	上白根地区社会福祉協議会	食支援事業(生活困窮者対象)	50,000
5	コミュニティサークル結	コミュニティサークル結(月1回)活動費	50,000
6	子ども青空キッチン「グリーン・グリーン」	青空子ども食堂(月1回開催)活動費	20,000
7	万騎が原ハイム自治会	多世代交流クリスマス会の開催	20,000
8	若葉台地区見守り事業連絡会	ひとり暮らし高齢者等定期訪問事業の定例会	50,000

【旭区地域福祉活動団体助成】総額(円): **900,000**

No.	団体名	事業名	助成額(円)
1	旭区老人クラブ連合会	各種行事	450,000
2	旭区子ども会育成連絡協議会	書道展・広報紙発行	130,000
3	旭区障害児者団体連絡会	旭区障害児者団体連絡会	150,000
4	旭区ボランティア連絡会	各種行事	170,000

福祉教育【学校に向けたもの】

実施月	学校名	学年	内容	協働先
5月	二俣川看護福祉高等学校	3年生	社会福祉協議会の役割について ボランティアについて	旭区社協ボランティアセンター職員
8月	本宿小学校	4年生	視覚障害者理解	View-net神奈川
9月	本宿小学校	4年生	高齢者疑似体験。車椅子体験	二俣川ケアプラザ、高齢者疑似体験指導団体 旭かけはし、旭中央地区民児協
9月	市沢小学校	4年生	草木の染物体験、地域の配食ボランティアとの 交流	旭区ボランティアセンター登録ボランティア、市 沢よるこびの会
11月	川井小学校	5年生	聴覚障害者理解、手話体験	横浜市立ろう特別支援学校 教員
11月	本宿小学校	6年生	バリアフリーについての講話、高齢者疑似体 験、車椅子体験	二俣川地域ケアプラザ、旭中央地区民児協、 旭区社協
11月	万騎が原小学校	2年生	認知症理解	横浜市キャラバンメイト 旭区ひまわりの会
11月	今宿小学校	4年生+保 護者	視覚障害者理解	View-net神奈川
11月	今宿南小学校	4年生	聴覚障害者理解、手話体験	横浜市聴覚障害者福祉協会
11月	不動丸小学校	5年生	視覚障害者理解・車いす体験	高齢者疑似体験指導団体旭かけはし、視覚障 害者誘導団体アイメイト・あさひ、視覚障害当事 者 渡辺氏
11月	今宿南小学校	5, 6年生	認知症理解	横浜市キャラバンメイト 旭区ひまわりの会
11月	左近山中学校	全校	視覚障害者理解	View-net神奈川
11月	今宿南小学校	3年生	地域のボランティア活動を知り、自分達にもでき ることを考える	今宿西地域ケアプラザ、サロンさえずり 旭区社会福祉協議会
11月	左近山小学校	5年生	高齢者疑似体験、車椅子体験	高齢者疑似体験指導団体旭かけはし、左近山 ケアプラザ、左近山民児協
11月	白根小学校	2年生	聴覚障害者理解、手話体験	横浜市聴覚障害者福祉協会
12月	鶴ヶ峯小学校	4年生	視覚障害者理解	View-net神奈川
12月	左近山小学校	6年生	認知症理解	横浜市キャラバンメイト 旭区ひまわりの会
12月	都岡小学校	1,2年生	視覚障害者理解	View-net神奈川
12月	都岡小学校	3,4年生	視覚障害者理解	View-net神奈川
12月	白根小学校	4年生	視覚障害者理解	View-net神奈川
12月	上白根小学校	4年生	視覚障害者理解	View-net神奈川
12月	左近山小学校	4年生	視覚障害者理解	視覚障害者誘導団体アイメイト・あさひ、視覚障 害当事者 長谷川氏
12月	二俣川小学校	4年生	高齢者疑似体験、車椅子体験、地区老人クラブ との交流	二俣川地域ケアプラザ、二俣川地区社会福祉協議 会二俣川地区民児協、老人クラブ連合会、旭区社協
11月	万騎が原小学校	5年生	聴覚障害者理解、手話体験	横浜市聴覚障害者福祉協会
1月	本宿中学校	1年生	視覚障害者理解	View-net神奈川
1月	本宿中学校	1年生	聴覚障害者理解、手話体験	横浜市聴覚障害者福祉協会
1月	本宿中学校	1年生	認知症理解	横浜市キャラバンメイト 旭区ひまわりの会
2月	白根小学校	5年生	高齢者疑似体験、車椅子体験	上白根地域ケアプラザ、旭かけはし
3月	本宿中学校	3年生	赤ちゃんゲストとのふれあい	旭区子育て支援拠点 ひなたぼっこ
3月	都岡中学校	1年生	精神障害・知的障害について理解する	地域活動支援センター ウィングス、障害者福 祉サービス事業所 虹のかけはし
3月	旭陵高校	1年生	高齢者／障害者／子どもに関するボランティア 活動、ボランティア活動の心構え	旭区ボランティアセンター、しらねの里、上白根 地域ケアプラザ

福祉教育【企業に向けたもの】

実施月	企業名	内容	協働先
7月	独立行政法人 高齢障害求職 者雇用支援機構 神奈川支部	モノ作り体験	旭区自立支援協議会 日中部会

福祉教育【地域に向けたもの】

実施月	対象(地区名、施設名など)	内容	協働先
7月	旭北地区家庭防災員	手話講座	横浜市聴覚障害者福祉協会

平成30年度 善意銀行 金銭寄付者一覧

【寄付金の受入】 件数:34件 預託金:1,194,037円

No.	受領日	寄付者名	預託金(円)
1	4月13日	匿名	50,000
2	5月7日	荻窪 邦昭	10,000
3	5月21日	内田 忠夫	2,246
4	5月24日	匿名	1,000
5	5月28日	あさひ茶花道協会	28,764
6	6月4日	旭区舞踊協会	55,300
7	6月5日	たかはし書道教室	3,000
8	6月20日	匿名	1,000
9	7月9日	匿名	1,000
10	7月23日	匿名	1,000
11	7月27日	旭区チャリティーゴルフ大会実行委員会	579,767
12	8月6日	旭区ボランティア連絡会	5,000
13	8月20日	匿名	1,000
14	9月13日	ヘアメイクファンジョン	65,000
15	9月19日	内田 忠夫	2,834
16	9月19日	匿名	1,000
17	9月27日	匿名	1,000
18	10月16日	荻窪 邦昭	10,000
19	10月23日	公社)神奈川県LPガス協会横浜旭保土ヶ谷支部	30,000
20	10月24日	横浜ケーブルビジョン株式会社	6,246
21	11月13日	一般社団法人 保土ヶ谷青色申告会	20,150
22	11月12日	横浜旭ライオンズクラブ	100,000
23	11月28日	旭区子育て広場 ぽけっと	5,000
24	11月29日	匿名	1,000
25	12月3日	旭区ボランティア連絡会	5,000
26	12月3日	都岡町内会	37,014
27	12月5日	荻窪 邦昭	10,000
28	12月12日	ヨガサークル ロータス	13,400
29	12月15日	鶴ヶ峰本町町内会婦人部	5,000
30	12月21日	伊藤 志壽江	20,000
31	1月9日	荻窪 邦昭	10,000
32	2月26日	鶴ヶ峰自治会資源回収団	80,000
33	3月11日	内田 忠夫	2,316
34	3月18日	旭区女性団体連絡協議会	30,000